

北信越地区

北信越地区 ドラフト候補ランキング

1位	山田 龍聖	高岡商高
2位	鈴木 裕太	日本文理高
3位	直江 大輔	松商学園高
4位	漆原 大晟	新潟医療福祉大
5位	谷崎 龍	福井工業大
6位	奥川 恭伸	星稜高2年
7位	知野 直人	新潟アルビレックスBC
8位	石川 雅晴	坂井高
9位	大橋 修人	日本航空石川高
10位	上田 優弥	日本航空石川高

他の地区と比較するとドラフトとは少し縁遠めだった北信越地区。しかし、BCリーグができ、高校野球の強化が進んだ近年は、どんどんドラフトが身近に。そして、今年、各県に要注目高校生がおり、大学野球にも可能性ある選手がいる。北信越フィーバーとなるか見守りたい。

文＝長野：小池剛（nines）／新潟：岡田浩人（新潟野球ドットコム）／富山：古川憲一／石川：森田公博／福井：岡田秀章

長野県・有望選手＆ ドラフト候補コラム

本格派投手の原石たち！

下級生の時からエース格として経験を積んできた投手に注目株が多い。

昨年夏、松商学園高9年ぶりの甲子園出場に貢献した直江大輔は、たくましさが増し、ボールにも凄みが出てきた。

同地区で1年時から直江としのぎを削ってきた、県内屈指の進学校である松本深志高の双子投手・小林綾、絃も最終学年となる。ともに中学時代から軟式で注目を集めてきた180センチ前後の本格派右腕で、2年時には球速140キロを超えた。兄の綾は、力で押し切るタイプで背番号1を付ける。主将でもある弟の絃は、チーム事情で昨秋は不慣れな遊撃手を兼務した。投手のみならず、総合力が高い選手だ。

2人の左腕にも注目したい。引木翼（小諸商高）は細身の体ながら、しなりのある投球フォームで、

球速は140キロに迫っている。制球力に不安を残すが、ぎゅちりと腕を振り切れるのは魅力。粗削りな分、今後の大きな伸びしろに期待したい。高木唯楓（東京都大塩尻高）は175センチ60キロと華奢な体格。それでも、軟らかい肩ヒジの動きから130キロ中盤で非常にキレのあるボールを放る。まだ体力的な不安要素があるものの、逆に体ができてくれば、どこまで成長するのか、と伸びしろが楽しみだ。

この他には、塚田純平（上田西高）は球速140キロを超える投手だけでなく、俊足強打の野手としても魅力的。富岡叶大（長野商高）は中学時代から注目の正統派右腕で、荻原健汰（松本第一高）も180センチの左腕として存在感を放っている。



小林綾（松本深志高）